

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月10日
【四半期会計期間】	第63期第3四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社ナカニシ
【英訳名】	NAKANISHI INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 中西 英一
【本店の所在の場所】	栃木県鹿沼市下日向700番地
【電話番号】	(0289) 64 - 3380（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理本部長 横山 治男
【最寄りの連絡場所】	栃木県鹿沼市下日向700番地
【電話番号】	(0289) 64 - 3380（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理本部長 横山 治男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第3四半期 連結累計期間	第63期 第3四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日
売上高 (千円)	18,899,622	22,867,346	26,236,358
経常利益 (千円)	6,159,069	8,080,580	8,323,572
四半期(当期)純利益 (千円)	3,715,826	5,220,630	4,735,468
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,736,115	5,299,727	6,631,123
純資産額 (千円)	43,046,133	47,889,532	44,585,821
総資産額 (千円)	47,473,725	52,618,683	50,705,477
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	126.16	178.11	160.85
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	126.06	177.93	160.71
自己資本比率 (%)	90.1	90.3	87.3

回次	第62期 第3四半期 連結会計期間	第63期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	47.57	70.34

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 平成26年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下の通りであります。

(歯科製品関連事業)

PODIA FRANCE S.A.S.の株式を売却したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

なお、平成26年10月、連結子会社であるNSK OCEANIA PTY.LTDの株式を追加取得し、完全子会社化しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、4月に実施された消費税増税前の駆け込み需要増で良化する面がありました。一方、やや円高傾向で推移した為替、政府の成長戦略の不透明さ等に起因する株価の軟調さなど厳しい面も見受けられました。

このような環境の中、当社グループは、国内の一時的な需要を着実に取り込むと同時に、海外でも大きく実績を伸ばすこととなりました。天候不順により経済面がやや軟調だったものの着実な回復をみせる米国、各国の緊縮財政の影響を受けながらも緩やかに経済が回復する欧州においても大きく売上を伸ばしました。新興国でも販路は浸透しており、比較的経済面に不安がある中でも成長を取り込みました。また、主要な競合が拠点を持つ欧州の通貨高による相対的な価格優位性も当業績に寄与しました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、22,867,346千円（前年同期比21.0%増）、営業利益は、7,431,470千円（前年同期比27.5%増）、経常利益は、8,080,580千円（前年同期比31.2%増）、四半期純利益は、5,220,630千円（前年同期比40.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（歯科製品関連事業）

各地の景況感、円安を背景に当社グループの主要市場である欧州、北米に加え、新興国でも売上は伸長しました。

この結果、売上高は、19,594,910千円（前年同期比19.2%増）、セグメント利益は、8,606,127千円（前年同期比20.4%増）となりました。

（工業製品関連事業）

アジア地域を中心に工場用設備投資の増加を背景に売上は伸長しました。北米でも歯科市場向け設備に搭載される工業用スピンドル等の商材を中心に売上は伸長しました。

この結果、売上高は、2,565,139千円（前年同期比38.7%増）、セグメント利益は、1,037,119千円（前年同期比60.5%増）となりました。

（その他事業）

修理等サービスにおきまして、売上高は、707,296千円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益は、60,662千円（前年同期比44.4%減）となりました。

(2)財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,913,205千円増加し、52,618,683千円となりました。これは、繰延税金資産が368,766千円減少した一方で、現金及び預金が1,381,628千円、有価証券が381,347千円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,390,506千円減少し、4,729,150千円となりました。賞与引当金が230,000千円増加した一方で、その他流動負債が839,588千円、未払法人税等が676,405千円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,303,711千円増加し、47,889,532千円となりました。自己株式の取得により724,598千円減少した一方で、利益剰余金が3,929,788千円増加したこと等によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、1,294,443千円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	125,000,000
計	125,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,419,800	31,419,800	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	31,419,800	31,419,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	31,419,800	-	867,948	-	1,163,548

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,089,500	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 29,327,600	293,276	同上
単元未満株式	普通株式 2,700	-	同上
発行済株式総数	31,419,800	-	-
総株主の議決権	-	293,276	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式20株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ナカニシ	栃木県鹿沼市下日向700番地	2,089,500	-	2,089,500	6.65
計	-	2,089,500	-	2,089,500	6.65

(注)平成26年9月30日現在の所有自己株式数は2,270,820株であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,701,295	17,082,924
受取手形及び売掛金	4,227,905	4,327,787
有価証券	2,110,979	2,492,327
金銭の信託	4,412,601	4,621,085
商品及び製品	3,013,273	2,876,612
仕掛品	1,800,344	1,729,995
原材料及び貯蔵品	1,801,801	2,057,427
繰延税金資産	933,322	739,734
その他	944,397	860,775
貸倒引当金	135,955	87,135
流動資産合計	34,809,966	36,701,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,735,915	5,041,081
機械装置及び運搬具	3,169,867	3,493,126
工具、器具及び備品	2,623,352	2,728,414
土地	1,445,313	1,447,168
建設仮勘定	206,574	351,189
減価償却累計額	6,937,839	7,412,622
有形固定資産合計	5,243,182	5,648,357
無形固定資産		
ソフトウェア	205,092	141,750
ソフトウェア仮勘定	30,646	101,687
のれん	457,562	376,841
その他	3,984	3,579
無形固定資産合計	697,286	623,859
投資その他の資産		
投資有価証券	7,079,920	7,022,473
関係会社株式	184,075	92,170
保険積立金	2,054,536	2,101,511
繰延税金資産	342,785	167,607
その他	510,818	478,238
貸倒引当金	217,094	217,069
投資その他の資産合計	9,955,041	9,644,932
固定資産合計	15,895,511	15,917,148
資産合計	50,705,477	52,618,683

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	728,513	736,239
短期借入金	113,625	102,420
未払法人税等	1,708,255	1,031,849
賞与引当金	287,000	517,000
その他	2,786,865	1,947,276
流動負債合計	5,624,259	4,334,787
固定負債		
長期借入金	48,564	4,154
繰延税金負債	55,645	57,789
退職給付引当金	250,386	197,618
その他	140,800	134,800
固定負債合計	495,397	394,363
負債合計	6,119,656	4,729,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,163,548
利益剰余金	44,363,403	48,293,191
自己株式	3,651,515	4,376,113
株主資本合計	42,743,385	45,948,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	375,991	642,151
為替換算調整勘定	1,166,881	938,347
その他の包括利益累計額合計	1,542,873	1,580,499
新株予約権	45,976	65,401
少数株主持分	253,585	295,056
純資産合計	44,585,821	47,889,532
負債純資産合計	50,705,477	52,618,683

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	18,899,622	22,867,346
売上原価	7,309,058	8,734,222
売上総利益	11,590,563	14,133,123
販売費及び一般管理費	5,760,634	6,701,653
営業利益	5,829,928	7,431,470
営業外収益		
受取利息	85,809	98,186
受取配当金	7,281	13,277
生命保険解約返戻金	692	-
為替差益	5,556	271,544
金銭の信託運用益	205,296	208,483
雑収入	31,212	63,105
営業外収益合計	335,847	654,597
営業外費用		
支払利息	1,043	1,427
雑損失	5,664	4,060
営業外費用合計	6,707	5,487
経常利益	6,159,069	8,080,580
特別利益		
固定資産売却益	812	2,106
子会社株式売却益	-	85,410
特別利益合計	812	87,517
特別損失		
固定資産売却損	1,014	-
固定資産除却損	271	30
投資有価証券売却損	12,930	-
投資有価証券評価損	-	760
関係会社株式評価損	256,890	-
貸倒引当金繰入額	150,000	-
特別損失合計	421,106	790
税金等調整前四半期純利益	5,738,774	8,167,307
法人税、住民税及び事業税	2,314,595	2,693,490
法人税等調整額	315,967	213,575
法人税等合計	1,998,627	2,907,066
少数株主損益調整前四半期純利益	3,740,146	5,260,241
少数株主利益	24,320	39,610
四半期純利益	3,715,826	5,220,630

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,740,146	5,260,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124,249	266,160
為替換算調整勘定	871,719	226,673
その他の包括利益合計	995,968	39,486
四半期包括利益	4,736,115	5,299,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,709,629	5,258,256
少数株主に係る四半期包括利益	26,486	41,471

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

PODIA FRANCE S.A.S.の株式を売却したため、当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (平成25年1月1日 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (平成26年1月1日 平成26年9月30日)
減価償却費	570,483千円	624,949千円
のれんの償却額	31,367千円	80,720千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	589,046	100.00	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月28日 定時株主総会	普通株式	703,831	120.00	平成25年12月31日	平成26年3月31日	利益剰余金
平成26年8月8日 取締役会	普通株式	586,605	20.00	平成26年6月30日	平成26年9月16日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,438,708	1,848,921	611,991	18,899,622	-	18,899,622
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	16,438,708	1,848,921	611,991	18,899,622	-	18,899,622
セグメント利益	7,146,041	646,004	109,097	7,901,142	2,071,214	5,829,928

(注)1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,594,910	2,565,139	707,296	22,867,346	-	22,867,346
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	19,594,910	2,565,139	707,296	22,867,346	-	22,867,346
セグメント利益	8,606,127	1,037,119	60,662	9,703,909	2,272,439	7,431,470

(注)1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	126円16銭	178円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	3,715,826	5,220,630
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	3,715,826	5,220,630
普通株式の期中平均株式数(株)	29,452,330	29,311,655
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	126円06銭	177円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	24,210	28,812
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年8月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額 586,605千円

1株当たりの金額 20円00銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成26年9月16日

(注) 平成26年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月10日

株式会社ナカニシ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉 田 英 志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 南 山 智 昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ナカニシの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ナカニシ及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。